

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	900	事後検証データベースシステム改修
合計	900	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

他県についても、メディカルコントロール協議会において、プロトコールの策定、医師の指示・指導・助言体制、事後検証体制、再教育体制等の充実強化を図っている。

(2) 事業主体及びその妥当性

県民にとって最善の結果をもたらすためには、県全体の救急活動の質を向上させる必要がある。このため、県において事後検証を実施し、その結果を用いて救急隊員の再教育や事例研究、症例研究等を実施する必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

救急現場から医療機関に傷病者が搬送されるまでの救急隊の活動を、医学的観点から事後検証を行い、その結果をフィードバックするとともに、データベース化して収集分析し、救急救命士をはじめとする救急隊員や通信指令員に対する教育に反映させることにより、救急活動の高度化を図り救命率の向上へと繋げていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						%
一般市民により心肺停止の時点が目撃された心原性の心肺停止症例の1ヶ月後生存率					14.1%	%
一般市民により心肺停止の時点が目撃された心原性の心肺停止症例の1ヶ月後社会復帰率					11.4%	%

○指標を設定することができない場合の理由

R2年度の実績については、総務省消防庁より数値が示されていない
終期目標については、昨年度の数値を参照した

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 事後検証データベースの改修を行うとともに、救急ネットへの移行に必要な事業を実施した。
令和3年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>救急活動の質を向上させるためには、医学的観点から活動の事後検証を行いデータベース化し、救急隊員に対する教育に反映するなど、救急活動の質の向上を図る必要がある。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり <input type="checkbox"/> 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>指標の値は目標値に向け着実に向上しており、目標達成に向け、引き続き事後検証結果を蓄積し教育に反映するなど救急活動の質の向上を図っていく。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <input type="checkbox"/> 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>救急ネットに移行し、消防本部及び医療機関の入力作業の軽減を図るなど、効率的な運用を行っている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 事後検証の実施にあたり、消防本部、医療機関とも多忙な中で検証を行っており、過度な負担とならないように十分配慮する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 救急活動の質の向上を図るためには、検証結果を収集分析し教育にフィードバックしていくことが肝要であり、引き続き実施していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	